

勝山市報

8月20日

No. 85

勝山市の人口

男 18,368人

女 20,642人

計 39,010人

世帯数 7,711

昭和36年8月10現在

昭和三十三年七月二十七日第三回臨時市議会
第 二 十 号 (一四四号)
新井勝山市報第八十五号
昭和三十六年八月二十日発行



盛況だった勝山夏まつり

恒例の勝山夏まつりは
さる十四日から三日間に
わたつて、はなやかにく
りひろげられた。

市役所前広場では連日
盆踊り大会がひらかれ、
延べ一万人が参加。とく
にことしては、作曲家古賀
政男氏激賞の郷土民謡
々長柄おどりも一枚加
わつて、お祭り気分をい
つそう盛りあげました。

中日の夜は弁天河原で
納涼花火大会。十六日に
は、大阪仕込みのチンド
ンヤ・コンクールが行な
われ、市民の人気投票の
結果「昆ちゃんの実験」
―上袋田繁栄会―と一經
生門―元禄繁栄会―が
一位に入賞しました。

(写真は大坂仕込みのチン
ドンヤ)

昭和35年度

あと一年で赤字解消

納税成績は九六・八パーセント

▽一般会計 昨年九月月末の財政公表より、その後三回の追加更正予算を行なつた外、三十四年度からの予算繰越分を加えて

書

白

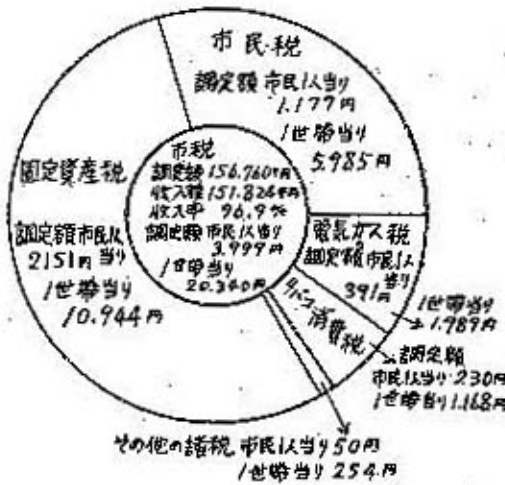
政

財

の

市

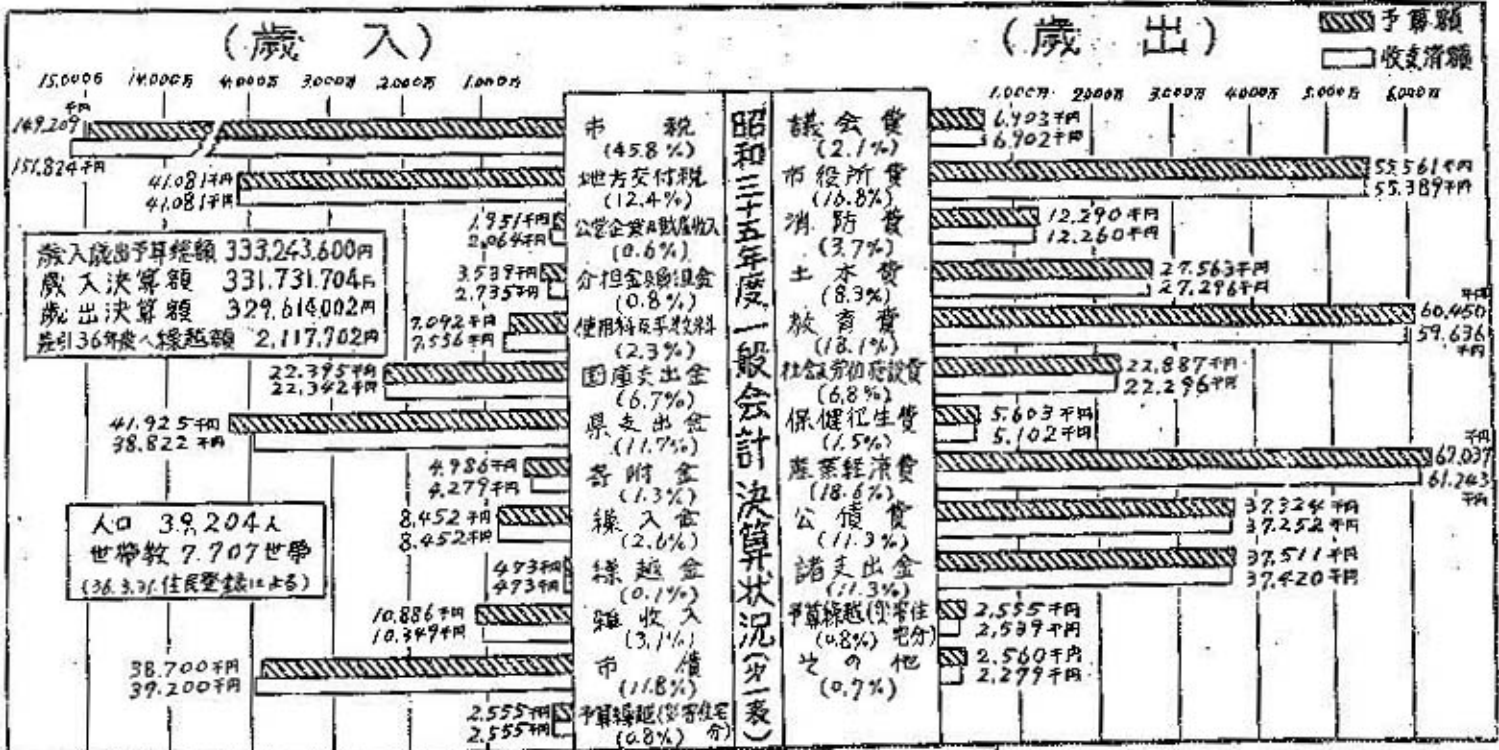
歳入歳出の各款別の内訳は第一表の通りで収入のなかば(四五・八%)を占める市税の状況は第二表の通りです。収入歩合は九六・九%で昨年度の九五・八%を上回っており、年々納税成績は向上しています。これも市民のみなさんのご理解とご協力によるものと深く感謝致します。その他の収入についても随力増収を図り、区県支山金庫附金、区



債等支出に対応して、適正に収入されております。支出の面では、依然として高額のまゝ横ばい状態にある公債償還の重任はありますが、積極的に事業投資を行ないました結果、災害復旧を除いては前年度を上廻り、総額一億一千六百万円にのぼる事業を行なう事ができました。その内訳は次の通りです。(単位万円)

- 一、庁舎施設整備 四六八
二、消防施設整備 六二九
三、都市計画及び排水 六〇五
四、道路橋梁河川新設改良 四四〇
五、教育施設整備 四一八
六、失業対策事業 三二一
七、社会及衛生施設整備 一六六
八、産業経済振興対策 六三七
九、用水建設 一、一三九
十、災害復旧事業 三、七九四
合計 一億一千六百七十七万円

基本財産造成事業会計は、市有林の造成と維持管理を行なうもので、三十五年度では約六十町歩の造林を行ない将来に備えています。奨学資金会計は、現在十三名の大学生と二名の高校生に資金を貸しており、三十五年度末現在の貸付高は、百三十二万二千円で貸与者数の累計は十九名です。公益質屋会計の三十五年度中の貸付は、二七五件でその金額は七十五万九千五百七十円です。簡易水道会計は片瀬、大袋、新神谷、大矢谷の四地区の簡易水道の維持管理を行なう外将来に備えるため、積立を行なっています。三十五年度末の積立金総額は十四万一千円です。



上水道会計は、上水道建設を行なう建設会計と各戸に給水を行なう給水会計とに分れていますが、三十五年度では送水管六百六十六、配水管一万七百八十六本の布設を始め、ポンプ設備及び用地整備等を行ない、この財源は市債三千万円を充當致しましたが、建設、給水の両会計で約一千万円の収入不足となつています。今後、事業の早期完成と普及率の向上によりできる限り早い時期に、収支のバランスをとるよう努力しています。

国民健康保険会計には保険事業会計とその直営である鹿谷、北谷の両診療所会計があり、一体となつて運営されております。国民健康保険会計にも過去の赤字があり、三十四年度から再建計画を策定し、赤字解消に努力し、三十五年度末で百六十万円の赤字になりましたが、国庫補助金の精算未交付金が二百六十余万円ありますので、実質的には過去の赤字を解消し黒字になつたわけです。

△ 財産と公債 三十五年度末における、市有財産及び市債の状況は、第四表の通りです。

市債総額は二億四千九百九十五万四千円で前年度末に比し五千一百六十五万八千円の増となつておりますが、上水道、造林等の企業債及び転貸債を除くその他の市債では、約一千三百五十万円減り、

第三表 特別会計決算状況 (単位千円)

区 分	歳入歳出 予 算	収入済額	支出済額	繰上 入 上 支出 (△)
基本財産造成費	16,133	16,662	16,055	607
奨学資金	378	378	378	—
公益質屋事業費	3,046	2,900	1,799	1,101
簡易水道事業費	284	169	169	—
上水道建設費	35,700	30,000	35,587	△5,587
上水道給水費	9,830	4,462	9,229	△4,769
国民健康保険費	36,831	33,938	35,547	△1,609
国民健康保険費	2,758	2,735	2,735	—
国民健康保険費	1,793	1,783	1,783	—

財政構造の健全化に努めております。公債償還費は三十四年度三千二百四十万円、三十五年度三千三百万円とほぼ横ばい状態で高額を示していますが、三十五年度末現償額の内、将来その償還が直接市の負担になるもの、今後五年間の平均償還額は千九百四十万円で標準一般財源に対する割合は十三・一％の低率です。

一時借入金金は年度末で全部返済しています。

以上三十五年度末の財政事情について、そのあらましをお知らせ致しました。財政再建計画もいよいよあと一年で、赤字解消も目前に見えて来ました。財政の健全化を図ることは勿論、今後市発展のため積極的に各事業を行ないつつあることをご理解の上、尚一層のご協力をお願いします。



第四表 財産及公債現在高

(1) 財 産

1 不動産の部	
建物面積	18,127.57 59,923m ²
敷地面積	29,713.17 98,226m ²
宅地面積	20,389.17 67,405m ²
山林面積 (台安造林)	1,832.5反9畝25歩 1,817.45ha
その他の土地面積	19畝2反3畝11歩 19.12ha
2 有価証券	
砂防会館建設出資証券	500,000円
電信電話債券	50,000円
3 積立金	
国民健康保険積立金	203,546円
奨学資金積立金	1,000,000円
巡回文庫積立金	500,000円
4 造林見込加格	
造林面積	1,837.53ha
価 格	64,163千円

(2) 公 債

1 公債費用途別現在高 (単位千円)

費 途 別	35年度末 現在高	36年度末 現在高	増減 (△)
1 普通土木債	4,461	4,718	△ 257
2 農業土木債	17,576	15,796	△ 1,780
3 災害土木債	7,820	8,049	△ 229
4 都市計画債	6,820	6,104	△ 716
5 教育債	37,807	39,741	△ 1,934
6 災害救済債	28,239	30,892	△ 2,653
7 住宅建設債	3,170	3,746	△ 576
8 消防債	5,263	383	△ 4,880
9 復興債	486	567	△ 81
10 保健衛生債	808	928	△ 120
11 市庁舎建設債	43,758	44,534	△ 776
12 老人福祉補償債	14,404	27,782	△ 13,378
13 災害特例債	1,400	1,400	—
14 公益債	—	548	△ 548
15 簡易水道債	1,155	1,178	△ 23
16 上水道債	37,000	7,000	30,000
17 造林債	8,800	3,600	5,200
18 国庫再建債	987	1,330	△ 343
19 転貸債	30,000	—	30,000
計	249,954	138,296	51,658

2 公債借入先別現在高

資金運用部	197,290千円
簡易保険局	24,084 "
福井銀行	10,793 "
農林漁業金融公庫	8,800 "
公営企業金融公庫	3,000 "
厚生省	987 "
全国市有物件災害共済会	2,000 "
損害保険会社	3,000 "
計	249,954 "

3 公債利率別現在高

4 分 5 厘	8,800 "
6 分 3 厘	158,220 "
6 分 5 厘	66,141 "
7 分 2 厘	3,000 "
7 分 6 厘	3,000 "
7 分 9 厘	10,453 "
8 分 4 厘	340 "
計	249,954 "

4 一時借入金

現在高	なし
-----	----

農業委員当選者決る!!

勝山市農業委員会委員選挙は、さきに無投票当選にまいった第一選挙区を除き、二地区の投票が十一日行なわれました。当選者はつぎのとおり。

▽第一選挙区 定員六名

石倉 惣代若 52 荒土町

高野 新之助 67 北郷町

田中 仁左衛門 66 〃

三崎 善三郎 33 荒土町

嶋田 金剛 28 鹿谷町

伊藤 武 29 〃

▽第二選挙区 定員五名

畑 中 貢 43 野向町

村上 伊作 63 〃

斎藤 正雄 53 村岡町

加藤 藤義 58 北谷町

中村 正直 56 村岡町

▽第三選挙区 定員五名

久保 正治 58 時川

斎藤 栄 51 遅羽町

松山 保城 49 若猪野

棟友 庄 80 平泉寺町

田島 仁太郎 59 〃

選挙人名簿の調製

にご協力ください

勝山市選挙管理委員会では、来年度施行される選挙に使用する基本選挙人名簿を調製しています。

この名簿は、先住民登録簿から有権者（昭和十六年十二月二十一日以前に生れ、市内にひきつづき三ヶ月以上住んでおられる人）を拾って、調書をつくり、これを市内の各ご家庭へまわして、名簿漏れがないかどうかたしかめてもらいハンをおしていただきます。いま調書をまわしています。

告知板

もし選挙権がありながら、調査にのつていなかったら、末尾の余白のところへ書き加えておいてください。それから、すでに市外に転出しておられたり、またすでに死亡しておられたら、その旨

注意下さい。

書き添えてください。そして八月末日まで、市役所総務課または、もよりの出張所へお返しください

市選管では、これをもとにして基本選挙人名簿をつくり、十一月五日から十五日間、念のため、有権者のみなさんに公開して、のつて

いる名前などに間違いがないか、名簿からもれていないかどうかを見ていただくことになっています

来年の有権者は大体二万二千人以上になるものと市選管ではみています。

来年は大事な選挙がひかえておりますから、特に選挙人名簿の調製にご協力くださいますよう、市選管では強く要望しております。

ハサの支え棒を道路に出さぬように!!

ハサの支え棒は道路に出さないよう。消防車はもちろん、交通妨害になりますから、くれぐれもご注意下さい。

ハサの支え棒を道路に出さぬように!!

ハサの支え棒は道路に出さないよう。消防車はもちろん、交通妨害になりますから、くれぐれもご注意下さい。

ハサの支え棒を道路に出さぬように!!

ハサの支え棒は道路に出さないよう。消防車はもちろん、交通妨害になりますから、くれぐれもご注意下さい。

わたくしたちの郷土史

斎藤 秀 助

(2)

石器時代、勝山地方にも人間が住んでいたことは、前回申上げました。それから更に文化が進展し、土器鉄器時代となり、米を食う時代となりました。石器時代は鳥獣を追って、居住を移動していましたが、米をつくるようになると、安定した土地に定住するようになり、同時に村造りがそろそろ始まりました。大化改新頃になると、田畑も相当に出来、村造りも大いに進み、田地の如きは現在の三分一位は開拓されました。學者の説により、現在の地字に久保川、野戸等の地名が各地にあります。これは大化の改新における口分田のことだといっています。時代は更に進んで、奈良朝となります。日本全体としても文化の大発展を見た時代であり、勝山地方においても、皆て見ない文化の発展した時代であります。それには色々原因がありますが、泰澄大師の出現したことが根本であります。天徳白山の開闢というものが原因であります。よつて泰澄の飯飯と、白山の関係につき、いささか申上げたいと思います。泰澄は、越前国藤生津三十八

泰山大師と白山

社の人で、天武天皇白鳳十一年（西紀六八二年）六月十一日の誕生。父は三神安角、母は伊野姫と称し、勝山地方猪野毛屋の人といわれています。現に誕生地猪野毛屋にはその五輪塔が残っています。一説には石像白伊野原の人ともいわれています。泰澄の酒蔵が、特に勝山地方に見られますことは、深い意味があると思います。五、六才になつても近所の友だちと遊ばず、泥土で仏像を作つたり、花水を捧げたりなどして遊んだという事があります。十一才の時、名僧道昭越前に来り、三神氏に預り、泰澄の非凡なる相を見、神童と称したそうです。十四才の冬の事です。毎夜姿をかくしますので、父これを怪しみ、兄定方に「弟は毎夜ひそかにどこかへ出かける、これをたしかめてくれ」と命じた。安方身を隠して、跡を追つて見ると、驚くなれ三十八社より五里もはなれた丹生郡越知山の巖窟に入り、礼拝数百、声高らかに「南無十一面観世音神變不思議」と唱う。終ると窟を出で山頂に登るが、安方驚愕得ず、嘆息家に帰りますと弟泰澄は既に家に帰っています。神通力があつたといわれます。

明るい一家



とじてお読みしよう